

登録コード	E4310900	開講年度	2026			
授業科目	初等社会科指導法基礎 A				担当教員	篠崎 正典
英文授業名	Intoroductory Teaching Method of Social Studies in Elementary School				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生
講義室	教育 E 5 0 4 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				1．小学校社会科の意義と歴史について理解できること。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				2．小学校社会科教育のカリキュラムと授業作りの方法について理解できること。 3．小学校社会科の年間指導計画と単元指導案を作れるようになること。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	社会科教育は子どもの社会認識を育てることによって、市民としての資質（公民的資質）を育てることを目標とする教科である。本講義では、社会科の目標、内容、歴史と実践の動向、評価、社会科の授業づくりの方法について、具体的な事例をもとに学ぶ。					
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンスー小学校社会科の役割と教師ー 第 2 回：小学校社会科の経験の再考ー小学校社会科の歩みにおける位置と特色ー 第 3 回：小学校社会科の成立と理念 第 4 回：小学校社会科の目標とカリキュラム 第 5 回：小学校社会科における教材研究の方法 1ー教材研究の方法と情報機器の活用ー 第 6 回：小学校社会科における教材研究の方法 2ー教材研究集の作成ー 第 7 回：小学校社会科の学習指導と評価ー学習指導案の作成ー 第 8 回：小学校社会科の内容と方法 1ー地域学習（3年）の模擬授業と検討ー 第 9 回：小学校社会科の内容と方法 2ー地域学習（4年）の模擬授業と検討ー 第10回：小学校社会科の内容と方法 3ー国土学習（5年）の模擬授業と検討ー 第11回：小学校社会科の内容と方法 4ー産業学習（5年）の模擬授業と検討ー 第12回：小学校社会科の内容と方法 5ー歴史学習（6年）の模擬授業と検討ー 第13回：小学校社会科の内容と方法 6ー政治学習（6年）の模擬授業と検討ー 第14回：まとめー小学校社会科の授業づくりの方法（授業アンケート）ー 教育実習等による欠席者への補講は、適宜レポート課題の提出により実施する。					
(6)成績評価の方法	・ 小学校社会科の意義、歴史、授業づくりの理解を測る小レポート（20％）、小学校社会科の授業実践力を測る模擬授業（20％）、毎回の授業内容の理解を測るポートフォリオ（20％）、小学校社会科の授業づくりの内容と方法の理解を総合的に測定する最終レポート（40％）、によって評価する。 ・ 14回の授業内容を踏まえたオリジナルの単元指導案の作成を最終レポートとする。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。					
(7)成績評価の基準	・ 最終レポート（単元指導案）の評価規準は次の通りである。（i）テーマの設定が適切である。（ ）テーマに沿った教材研究ができています。（ ）指定された形式に沿って指導案が作成されている、（ ）適切な単元構成ができています。（ ）現場の実践で使用可能である。 ・ 14回の授業内容を踏まえ、(i)（ ）までの項目を満たした上でオリジナリティーがあれば「卓越している」。(i)から（ ）まで」の5項目が満たされていれば「かなり上にある」、4項目を満たしていれば「やや上にある」、3項目を満たしていれば「その水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	・ 第1回で、小レポート「小学校社会科の経験」のワークシートを配布する。第2回までに作成・持参し、第2回のグループ討議の材料とする。 ・ 第2回から第7回で配料した資料は、第8回までによく読んで理解しておくこと。 ・ テキスト（学習指導要領解説）は随時使用するので、よく読んでおくこと。 ・ 第5、6回の内容を踏まえて、第7回までに小レポート「中学校社会科素材研究」を作成し、持参する。 ・ 第8 13回は、模擬授業と検討を行い、その内容を踏まえて講義を展開する。グループごとに準備を進めておくこと。 ・ この授業は90時間の学修を必要とする内容である。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	・ 授業開始前には、eALPSにアップロードされた資料や前時に配布した資料を通して予習を行うこと。 ・ 出席は各自の出席票（ポートフォリオ）に授業内で示す課題について記入することでカウントする。授業中に自分の出席票を受け取り、記入後、授業終了時に提出する。ポートフォリオとして評価材料に使用する。 ・ グループワークを中心とする授業のため、積極的な参加が求められる。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室、随時、mshino@shinshu-u.ac.jp					

【教科書】	・文部科学省『小学校学習指導要領解説 社会編』東洋館出版社、2017年。
【参考文献】	・日本社会科教育学会編『社会科教育事典（第3版）』ぎょうせい、2024年 ・井田仁康・唐木清志編『初等社会科教育』ミネルヴァ書房、2018年。 ・信州社会科教育研究会『新編 のびゆく郷土』信濃教育出版社、2018年。 ・文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社、2017年。 ・小学校で使用した教科書、地図帳、地域教材（社会科副読本）。